

国情研コ第 67 号
平成 29 年 9 月 21 日

国立大学図書館協会
公立大学協会図書館協議会 各加盟館の長 殿
私立大学図書館協会

大学図書館と国立情報学研究所との
連携・協力推進会議委員長
横浜市立大学学術情報センター長

三 浦 敬 [公印省略]

SCOAP³プロジェクトの進捗状況について（通知）

日頃より、大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議の取り組みについて格別のご配慮を賜り、誠にありがとうございます。

さて、高エネルギー物理学（HEP）分野の査読付き学術雑誌論文のオープンアクセスを実現する国際連携プロジェクト「SCOAP³（Sponsoring Consortium for Open Access Publishing in Particle Physics）」について、平成 29 年 7 月 13 日付通知文書（国情研コ第 49 号）にて、アメリカ物理学会（APS）の SCOAP³参加に伴う進捗状況とフェーズ 2 への協力の依頼をさせていただきました。当初 2017 年 9 月に参加意向調査を行う旨の予告をいたしました。その後、CERN と APS との協議により、APS 当該 3 誌に係る拠出金額の算出は 2018 年の購読額をベースにすることが決まったため、2018 年の契約状況が確定する 11 月以降に延期することとなりました。その他、SCOAP³プロジェクトの進捗状況につきましては、別紙をご参照ください。

なお、SCOAP³対象雑誌の購読有無に関わらず、当プロジェクトに未参加の機関等におかれましても参加をご検討いただきたく存じます。参加につきましては、下記問い合わせ先までご相談ください。

また、本文書にご回答いただく必要はございませんので、念のため申し添えます。

連絡・問合せ先

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

SCOAP³タスクフォース事務局（国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課）

担当：吉田，服部

メールアドレス：scoap3survey@nii.ac.jp

SCOAP³ プロジェクト進捗状況について (2017. 9)

1. フェーズ2におけるAPSの参加(2018年～2019年)について

2018年からはアメリカ物理学会(American Physical Society: APS)がSCOAP³に加わり、APSの刊行するPhysical Review C, Physical Review D, Physical Review Lettersの3誌に掲載されているHEP分野の論文がオープンアクセスになることが発表されました(2017年4月 https://scoap3.org/aps_joins_scoap3/)。これにより、2018年以降は世界中のHEP分野の論文の約90%がオープンアクセスとなります。

なお、物理学研究者に向けて、APS参加のニュースと合わせて、SCOAP³プロジェクトの広告を日本物理学会誌(72巻9号、平成29年9月5日発行)に掲載しました。これらのニュース等は、文末記載のSCOAP³日本国内向けサイトからご覧いただけます。

2. 参加意向調査について

平成29年7月13日付通知文書(国情研コ第49号)にて、2017年9月に参加意向調査を行う旨の予告をいたしましたが、2018年の契約状況が確定する11月以降に延期することとなりました。ご了解いただきますようお願い申し上げます。

3. 拠出額算出方法

拠出額の算出方法は、以下のとおりです。2018年のリストプライス、購読実績、購読額、パッケージ契約価格に基づいて計算します。購読額、パッケージ契約価格は共に、代理店手数料や消費税を含まない原価(ドル建て)を用います。そのため、購読額、パッケージ契約価格、及びTierの情報が必要になりますので、APSの日本総代理店である紀伊國屋書店に確認するなどして、必ず把握しておいてください。

(1) タイトル単位の購読

拠出額 = 各機関の2018年対象誌購読額 × HEP分野論文掲載率※

※ HEP分野論文掲載率は以下の通りです。タイトルによって異なります。

Physical Review C	9%
Physical Review D	64%
Physical Review Letters	10%

(2) パッケージとして購読

拠出額 = 2018年パッケージ契約価格 × 係数A

※ 係数Aは以下の通りです。HEP分野論文掲載率等に基づいてCERNとAPSが決めました。

APS-ALL	15.25%
PR-ALL	19%

4. 支払いの仕組み

まず、CERNからNIIに対して請求書(ユーロ建て)が届き、日本の分をまとめてNIIが支払います。その後、NIIから参加機関に対して請求書(円建て)を送ります。拠出額の原価に当たる部分は、2018～2019年の間は変わりませんが、各々の支払いの段階で為替レートの影響を受けます。

また、2018年、2019年の各購読機関のAPS契約金額からはSCOAP³ 拠出額が削減されます。

既にSCOAP³に参加しているAPS当該3誌購読機関は、既存の拠出額+APS分拠出額を拠出することになります。

※ APSはHEP分野論文掲載率と係数Aは変わりませんが、原価（ドル建て）は値上げの可能性があります。

参考 SCOAP³とは

SCOAP³ (Sponsoring Consortium for Open Access Publishing in Particle Physics) は、欧州合同素粒子原子核研究機構 (CERN) が主導する、高エネルギー物理学 (HEP) 分野の査読付き学術雑誌論文のオープンアクセスを実現する国際連携プロジェクトです。

世界各国の研究助成団体や図書館がコンソーシアムを形成し、従来図書館が出版社に支払ってきた購読料を論文出版加工料 (APC) に振り替えることで、HEP分野の主要な学術雑誌のオープンアクセスを実現するものです。

※ 従来のモデルとSCOAP³のモデルの違いについては、以下の図をご参照願います。

→ <https://www.nii.ac.jp/sparc/scoap3/pdf/fig1.pdf>

SCOAP³の詳細については、以下のサイトも参考にしてください。

(CERNによる案内) <https://scoap3.org/>

(日本国内向けサイト) <https://www.nii.ac.jp/sparc/scoap3/>

連絡・問合せ先

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

SCOAP³タスクフォース事務局 (国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課)

担当：吉田，服部

メールアドレス：scoap3survey@nii.ac.jp

(参考)

①対象雑誌 (2017年1月現在)

出版社	タイトル	備考
Elsevier	Nuclear Physics B Physics Letters B	
Hindawi	Advances in High Energy Physics	
IOP Publishing/Chinese Physical Society	Chinese Physics C	
Jagellonian University	Acta Physica Polonica B	
OUP/Physical Society of Japan	Progress of Theoretical & Experimental Physics	
Springer	European Physics Journal C Journal of High Energy Physics	

②フェーズ2 国内参加機関 (2017年3月現在)

北海道大学	高エネルギー加速器研究機構
東北大学	国立情報学研究所
山形大学	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所
筑波大学	理化学研究所
千葉大学	首都大学東京
東京大学	大阪市立大学
東京工業大学	大阪府立大学
総合研究大学院大学	上智大学
新潟大学	慶應義塾大学
信州大学	中央大学
名古屋大学	東海大学
名古屋工業大学	東京女子大学
京都大学	日本大学
大阪大学	明治大学
神戸大学	明治学院大学
岡山大学	立教大学
広島大学	早稲田大学
九州大学	立命館大学
九州工業大学	大阪電気通信大学
熊本大学	関西学院大学